

# 三和協働 支援センターだより



## 第1号

2016年6月

発行  
三和協働支援センター  
〒720-1522  
神石高原町小畠 2025  
TEL/FAX 0847-85-3399  
s-kyoudou@sky.  
kagayakinet.ne.jp

# 三和協働支援センター 設立総会開催

5月13日、三和公民館において、三和協働支援センター設立総会が開催され、組織として正式に発足いたしました。

総会議決事項は次のとおりです。

第一号議案  
「三和協働支援センター規約(案)」について  
・組織を運営していくための基本的約束を条文にしたもの

第二号議案  
「役員選出(案)」について  
・幹事9名(自治振興会長8名、支援センター1名)

・監査員2名(構成員)  
・今後は、幹事会を中心に、規約、規則に従い協議・審議を行い運営してまいります

第三号議案  
「事業計画・収支予算



(監査員)  
平岡哲美、赤木利則  
(担当)  
まちづくり推進課  
松井課長補佐  
森元主査

## 平成28年度事業計画

第三号議案の内容については、次の説明をご覧ください。主な事業予算内容は裏面をご覧ください。

書(案)」について  
以上の議案がすべて可決されました。

(来賓)

牧野町長代理(松井課長補佐)、藤田議員、小川議員、木野山議員、丸山議員、(欠席)、片山議員)

(幹事) 各自治振興会長及びセンター長  
立原征士、福本正志、向 靖弘、山内好紀、山本喜久、若林勇二、福島道正、中川正道、植原敬司

平成16年11月、4町村合併により合意された「人と自然が輝く高原のまち」の基本理念に基づき、行政は住民と町による協働のまちづくりと行財政改革を推進、職員削減をはじめとする一定の成果を数字で示し、持続可能なまちづくりが進められていきます。しかし実態は、少子・高齢化とともに急激な人口減少が続く異常な状態となっています。

こうした状況下において、近い将来を予測すると地方交付税の大幅な減少や職員減による影響により、住民の新しいニーズに対応した行政サービスが行えない状況になりつつあります。行政と住民の小さな隙間にある地域課題を解決する方策として三和協働支援センターを設立するものです。



三和協働支援センター長 植原敬司

課題にも、地域の課題、お年寄りの課題、若者の課題、女性の課題等いろいろな課題が出てくると思います。

三和協働支援センターとしては、地域住民が安心して生活できるように、安心・安全ネットワークを張り巡らすことを基本に据えて次の事業に取り組み、協働のまちづくりを進化させたいと思っています。

## 協働支援センター設立の理由と目的

協働支援センター設立の理由は、①少子・高齢化②急激な人口減少③地方交付税の減少④役場職員の減少など、地域を取り巻く環境が急速に厳しくなってきたことが要因としてあります。行政、住民、各種団体が協働・補完することでこれらの課題解決に取り組み、安心して住み続けられる地域をつくることを目的としています。

## 協働支援センターの役割

協働支援センターは、地域の課題やテーマを共有するとともに解決方法やアイデアを幅広く出し合う協議の場、そして実行する場です。行政と住民の小さな隙間にある地域課題を皆で共有し、皆で対応策を考え実行する、そのサポート役を協働支援センターで行っていきます。自ら考え実行する地域づくりを始めていきたいと思います。

## スローガン

## 「人に優しい地区づくり」

## 事業計画

- (1) 三和地区まちづくり計画の策定  
地域の課題や現状把握のため、幹事会、円卓会議を積極的に開催し、より多くの意見を集約していく中で、今後の町づくりの基本となる5ヶ年計画を策定する。
- (2) 自治振興会・各種団体の活動支援  
自治振興会運営交付金要綱、協働のまちづくり事業実施要領にもとづき、各団体の活動助成を行う。
- (3) 事業内容

★印は平成28年度予算化しています  
印は今後計画に則り実施予定

裏面に詳細!

- ★見守りたい活動(緊急連絡用紙設置)
- ふるさと納税推進による財源創出を図り、各種セーフティーネット構築を行う

□ 介護予防支援事業

★ 生き生き元氣百歳体操

□ 集落機能維持対策事業

★ 班統合助成金の創設

・人口減少や高齢化に伴う役員担い手不足による集落機能の維持対策

□ 生涯学習・文化活動支援事業

★ 地域バス送迎試験運行

・文化大学の開校

□ 環境・景観保全事業

★ チップ・シュレツダーの導入基金創設

・ユニポによる草刈機導入

□ 各種事務作業の側面支援事業

★ 中山間地域等直接支払・多面的機能支払交付金の事務代行

□ 農業・産業振興事業

・有害鳥獣捕獲後の処分場対策

□ 定住促進事業

・カップリング・婚活の側面支援

□ 防災・防犯事業

・自主防災組織と地域消防団との連携支援

★ 印事業につきましては、自治振興会長さんを中心に取り組みをお願いいたします。

三和協働支援センター 職員紹介

(支援センター長) 植原敬司

(事務局長) 徳田好朗

(事務局員) 石崎小百合 です。

※少しでも皆様のお役に立てるように、自治振興会の下支えを一生懸命行いますので、よろしくお願いいたします。

# 平成 28 年度 三和協働支援センターの主な事業予算内容

<事業費>

(単位：円)

| 科目       | 金額        | 内 訳   |
|----------|-----------|---|
| ふるさと納税   | 100,000   | ふるさと納税のシステム検討<br>(HP@40,000、年間維持費 @5,000×12ヵ月=60,000)   |
| 助成金      | 1,088,000 | <セーフティーネット><br>・見守りたい(緊急連絡用紙設置)<br>・介護予防支援 生き生き元気体操 1,000×51回×8自治会=408,000<br>・イベント用送迎車バス各地域 年1回 220,000<br>・班統合を話し合う、1ヵ所@20,000×3ヵ所=60,000<br>・統合決定班へ 1班 @100,000×4班=400,000 |
| 基金       | 1,500,000 | チップ、シュレッター導入基金<br>(年150万:3年積み立ての初年度分 150/450)   |
| まちづくり助成金 | 5,000,000 | 申請後幹事会で助成基準により審査・決定<br>(ふるさとフェア・駅伝等)  |
| 費用弁償     | 880,000   | 円卓会議 (@2,000×15人×3回×8自治会=720,000)<br>幹事会 (@2,000×8人×10回=160,000)  |

## セーフティーネット 見守りたい(緊急連絡用紙設置)

### <実施手順>

- ①班ごとに話し合い、ご近所同士で「元気？」と声を掛け合い、〈見守ってあげたい〉、〈見守って欲しい〉、〈気をつけ合う〉の優しい気持ちが基本。
- ②緊急連絡先を書いた用紙を円筒に入れ、常に冷蔵庫の中に保管。緊急時に連絡をしてもらう。

### <期待される効果>

- ①〈声を掛け合う〉〈気をつけ合う〉ことで細やかな信頼関係
- ②人に優しい地域ができる
- ③防災意識が高まる
- ④〈詐欺〉等の相談にもなる
- ⑤緊急時の役に立つ

### 緊急連絡カード<記入例>

|                                       |              |                   |            |      |               |
|---------------------------------------|--------------|-------------------|------------|------|---------------|
| 住所                                    | 神石高原町小島〇〇番地  |                   |            |      |               |
| ふりがな                                  | しえん たろう      |                   |            |      |               |
| 氏名                                    | 支援 太郎        | 大(☉)平 10年 8月 23日生 |            |      |               |
|                                       |              | 血液型               | A型 (男) 女   |      |               |
| かかりつけの病院名                             | 神石高原町立病院     | 病名                | 高血圧        |      |               |
| 病院の電話番号                               | 0847-85-2711 | 主治医               | 〇〇先生       |      |               |
| <b>同意書</b>                            |              |                   |            |      |               |
| 緊急災害時に、このカードに記載する私の情報を他に提供することに同意します。 |              |                   |            |      |               |
| ふりがな                                  | しえん はなこ      |                   |            |      |               |
| 氏名                                    | 支援 花子        | 大(☉)平 13年 12月 8日生 |            |      |               |
|                                       |              | 血液型               | O型 (男) 女   |      |               |
| かかりつけの病院名                             | 〇〇〇〇病院       | 病名                | 糖尿病        |      |               |
| 病院の電話番号                               | 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇  | 主治医               | 〇〇先生       |      |               |
| <b>同意書</b>                            |              |                   |            |      |               |
| 緊急災害時に、このカードに記載する私の情報を他に提供することに同意します。 |              |                   |            |      |               |
| 緊急連絡先                                 | ①            | 氏名                | 支援 一郎      | 携帯   | 090-xxxx-xxxx |
|                                       |              | 住所                | 福山市〇〇町〇〇番地 |      |               |
|                                       | ②            | 続柄                | 長男         | 自宅電話 | 084-〇〇〇-〇〇〇   |
|                                       |              | 氏名                |            | 携帯   |               |
|                                       | ③            | 住所                |            | 自宅電話 |               |
|                                       |              | 続柄                |            | 携帯   |               |

救急車 119番通報 警察 110番通報

## 介護予防支援 生き生き元気百歳体操

生き生き元気百歳体操は、平成15年に高知市で開発された筋肉強化の体操です。ゆっくりとしたスピードで、持久力の強化にもなる30分程度の体操です。

「いきいき百歳体操」のDVDを見ながら30分間体操をします。DVDは保健課(地域包括支援センター)より貸し出してもらえます。最初の数回は体操の指導に、スタッフがお手伝いをしてくださいます。ほかの人と比べるのではなく、自分のペースでゆっくりと体操します。「足が上がるようになり、つまずかなくなった。皆と会えるので気持ちが前向きになった。膝の痛みもなくなってきた。皆とのおしゃべりが楽しい」等々の声が聞こえます。

将来も「自分のことは自分で」を目標にした筋力運動です。自治振興会で取り組んでいただけるよう支援する制度です。

## 班統合支援金

班によっては、高齢化・人口の減少等の理由により、地域の行事や役員の成り手が少なく悩ましい課題を抱えた班が多くみうけられます。班同士の統合によって班機能の強化、役職の統一、あるいは地域の活性化等と課題解決につながる一策になればよいと思っています。

- ・班統合を話し合う複数班へ、年1回限りとし20,000円。
- ・統合決定後、実績報告に基づいて統合前班にそれぞれ100,000円交付する制度です。

## 事務作業・受託事業 中山間・多面的直接支払事務

- ・三和協働支援センターでは、中山間直接支払事業、多面的機能直接支払事業の事務作業を応援します。
- ・受託は、28年度途中でも29年度開始からでも、ご相談にのります。
- ・どうしても地元でやって戴かないといけない基本的な事項もございますので、先ずはご相談ください。
- ・受託料金は交付金の10%です。